

国際看護学

選 択

開講年次：4 年次前期

科目区分：講 義

単 位：1 単位

講義時間：15 時間

■**科目のねらい**：社会、経済、教育、文化的な相違の理解の基に諸外国の看護の仕組みや実際を学ぶ。また、日本の国際的看護活動の歴史と現状を知る。国際的見地から看護を学習することで地球上の人々の健康課題に対する看護の貢献の在り方を考え、異文化に於ける看護・医療サービス提供者としての姿勢を学習する。

■**到達目標**：①グローバル・ヘルスにおける基本的な概念を説明する
②世界の人々の健康問題を、社会経済的・文化的な要因と関連づけて述べる
③在日（訪日）外国人、在外日本人の健康課題の特徴を説明する
④グローバル・ヘルスにおいて看護職である自分自身の果たす役割について考察する

■**担当教員**：

大野 夏代

■**授業計画・内容**：

第 1 回 コースオリエンテーション

グローバル・ヘルス／ミレニアム開発目標～持続可能な開発のための2030アジェンダ／国際看護とは

第 2 回 世界の健康問題の現状

人口／保健指標／健康問題の背景／保健医療人材 世界保健機関（WHO）国際看護師協会（ICN）国際協力機関（国際機関・政府援助・非政府援助）

第 3 回 国際看護の対象者と健康問題、グローバル・ヘルスにおける看護の役割1

異文化理解／在日外国人（訪日外国人）／在外日本人／海外旅行での健康管理

第 4 回 外国人模擬患者演習（ゲストスピーカー）

第 5 回 国際看護の対象者と健康問題、グローバル・ヘルスにおける看護の役割2

国際協力機関の機能と協力の仕組み／国際的看護活動

第 6 回 国際看護の対象者と健康問題、グローバル・ヘルスにおける看護の役割3 グループワーク

第 7 回 発表

第 8 回 国際的活動とキャリア

■**教科書**：『国際看護学—グローバル・ナーシングに向けての展開』／新川加奈子・大野夏代（中山書店）（2013）

■**参考文献**：『国際看護・国際保健』／丸井英二（弘文堂）（2012）

『知って考えて実践する国際看護』／近藤麻理（医学書院）（2011）

『系統看護学講座 災害看護学・国際看護学』医学書院（2010）

Nursing in the World (5th Edition)／国際看護交流協会（メヂカルフレンド）（2010）

DVD『目で見る国際看護（全3巻）』／医学映像教育センター（2010）

■**成績評価基準と方法**：

評価方法	到達目標				評価基準	評価割合 (%)
	到達目標①	到達目標②	到達目標③	到達目標④		
小テスト・授業内レポート	◎	◎	○	○		50%
発表・レポート	○	○	◎	◎		50%

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：全ての専門科目

■**その他（学生へのメッセージ・履修上の留意点）**：グローバル・ヘルスの考え方は、日本を含めた、世界で仕事をするときが必要です。国際協力だけではなく、在日（訪日）外国人や在外日本人の保健医療に関連した、看護職の多様な役割を考えてみましょう。